

身近な特産品

梅について もっとよく知ろう！

6月10日、薩摩中の一年生が南高梅の収穫体験と梅を使った加工方法などを学びました。

中学一年では総合的な学習の時間を使って、町内の農業について学んでおり、その知識の向上と、地元農産物を地元で消費する地産地消の食農教育の一環として、授業をおこなったものです。

当日は52名が参加して、町の梅園で青梅を収穫しました。中には大きなビニール袋に持ちきれないほどの青梅を入れる生徒もいて、賑やかな収穫風景となりました。

収穫が終わると、生徒たちは中学校の調理室で川薩農業

改良普及センターの新屋敷美智代技術主査から梅の効能などについて説明を受けました。

新屋敷技術主査は「梅はクエン酸の働きにより疲労回復や整腸作用、カルシウムの吸収などに効果を発揮します。また物を腐らせる腐敗菌の増殖を強力な酸の力で防ぐ働きがあります。」と説明しました。

その後生徒たちは、農産物加工グループの今東五子さんの指導で、前日収穫し冷凍庫で凍らせた梅を使い、梅のシロップジュースとはちみつジュースの作り方を学びました。

飲み頃まで10日から1カ月程度かかりますが、みんなは出来上がりが待ちきれない様子です。



▲中学生による青梅収穫風景



生徒たちは今回の体験を通して、梅についての理解を一層深めたようでした。
◀みんなで青梅のへたを取っています

第4回現代ガラスの美展 IN 薩摩

入選作品の紹介⑦（居住先・年齢は応募時、敬称略）

太田 佳奈（静岡県在住 21歳）

約束

自分にとって大切な約束は、ガラスのように美しく無垢で儚いもの。小さくても存在感のある作品を作り続けたいと思っています。



奥野いづみ（山梨県在住 37歳）

—Sanctuary—（心の泉）

心の中に存在する私の大切な場所、聖域を表現してみました。



風元 彩（大阪府在住 30歳）

私の中のいきもの

命の大切さや生きる喜びがテーマです。どんなに小さな生き物もどんな人もたった一つのかけがえないものだと思います。



川邊 雅規（福井県在住 31歳）

心象風景 ～心の肖像～

自分の心の内を見つめ、自分の本質を認識し、更にはそこから自分の秘めた可能性を見出したいという欲求をガラスという素材を用いて表現してみました。